プロフェッショナルクリエイターのための情報誌

平成10年12月24日 第三種郵便物認可　平成16年4月1日（毎月1日1回発行）通巻第78号

Director's MAGAZINE

ディレクターズマガジン

www.broadnet.or.jp/magazine/
Issue of April 2004
4
500yen



特集

クリエイターのための知っ得集
Q&A

OUT OF FRAME
マンガ家
髙橋ツトム
「絵が巧いと褒められた、
ただその一点を頼りにマンガ家を選んだ」

プロデューサー列伝
映画監督・VFXスーパーバイザー／TBS
曽利文彦
『ピンポン』の監督が、
フルCGの3Dライブアニメ『アップルシード』をプロデュース。

Freelance Journey
映画監督
佐々部清
『半落ち』、『チルソクの夏』……
信条は「嘘のないものを撮ること」。

編集長対談　creative cruise
コダック株式会社　常務取締役
エンタテインメント イメージング事業部　事業部長 天井浩二

巻末のアンケートハガキでうれしいプレゼント
詳しくは本誌P.70で

今日的制作現場

今月のクローズアップ

有限会社 サカイ デザイン アソシエイツ [プロダクトデザイン]

Vol.6

“物”が生み出された意志を形や空間で きちんと伝えることが、デザインの使命

好きなデザインがないなら、自分でデザインしてしまおう

プロダクトデザイン業界でトップを走り続ける㈲サカイデザインアソシエイツ・酒井俊彦氏の制作現場を訪ねた。酒井氏が創造するものは、特別な存在感を放っている。

酒井氏が最初にデザインに興味を抱いたのは、高校生の頃。――好きなバイクに気に入るデザインがなかった。ならば、自分でデザインしてしまおう。やがて、興味は自動車のデザインに移る。そこで、東京造形大学のインダストリアルデザイン科に進学したが、なんと大学では、4×5のカメラやベーカムをかついで走り回っていた。

「ひとつのことだけに専念する職人はつくりたくないという学校方針で、いろんな授業が受けられたんです」

だが、希望の自動車メーカーから誘いの声はかからず、ゼミの教授にコーゾーデザインスタジオを紹介される。佐藤康三氏が代表を務め、大手メーカーはもとより都市開発まで手掛ける業界屈指のデザイン事務所である。酒井氏は、デザインの最先端の現場においてコンセプトの考案から図面作成、クライアントとの交渉に至るまで、わずか1年足らずで一任されるまでになった。

2年後、相模湾地域活性プロジェクトコンペで得た賞金100万円を手に単身オーストラリアに渡る。

「コーゾーデザインスタジオでは、思うようにやらせてもらえて楽しかったです。でも僕はうるさい奴だったと思いますよ。クライアントにも上司にも『そんな意見は納得できない。だから、かっこいいものができないんだ』なんて、言ってました。出入り禁止になったメーカーもありますし、実は、あまりの傍若無人さにクビになったんです（笑）」

相当な根性の、血気盛んな若きデザイナーであったことが想像できる。

“物”を生み出す思想や意志を形にする

帰国後、28歳でサカイデザインアソシエイツを設立。酒井氏がデザインをするにあたって、もっとも心掛けていることは？

「“物”が持っている本来の目的に対して、それが正しい形をしているかどうか。つまりその“物”の思想がちゃんと形として表れていて、“物”が持つ意志がきちんとユーザーに伝わっているかどうかということです」

――素材をムダなく使う効率的な製作手法をとった鏡台椅子をモチーフにつくられた低価格で個性的な椅子たち。自由に掛け位置を変えることができるコートハンガー。――どれも見事につくる側の意志が形となって表れている。

また、酒井氏はアドバンスデザインも数多く手掛けている。元来、商品化を目的とされたものではないが、稀に商品としてお目見えすることもある。

「商品化へのハードルは高いです。でも、こんなにたくさんのものをつくっている国なんて他にありませんから、デザイナーにとって日本は良い国ですよ」

本当のデザインは本物のサービスによって完成

インテリアだけでなく空間プロデュースも手掛けた犬同伴カフェ「Pizzeria FUMO」でも、酒井氏の強い意志を感じられる。犬の脚にやさしい室内競技場用の床、飼い主との距離を近付け犬に安らぎを与えるために低くつくられた椅子、大型犬がいても普通のお客さんが気にならないよう大きく取られたテーブル間隔。だが、もっと重要なのは、落ち着いた豊かな空間を壊さないようなモラルを持った飼い主を呼び込む雰囲気づくりである。それには店側にも相当の覚悟が必要だ。

「空間には、わずかな気の効かせ方の差が出てくるんです。つくる側の考え方をどう形にするかという意味ではインテリアもプロダクトデザインも同じ」

そんな酒井氏が、心掛けているのは、誰かが「良い」と言ったものは自ら体験してみるということ。

「もし、最初にクライアントの言っていることが理解できなくても、とにかくまずはそれを体験する。自分で体験して確認していかないと、深いコミュニケーションと理解は図れないと思います。ただの“知識”には重みはない。それから、精神的に良い暮らしをすることです」

多くの人の言葉や姿勢、デザインしたものからいろいろなことを教わることができ、そういう積み重ねから今の自分が成り立っているという酒井氏。「碑文谷公園の管理を見るだけでも、いろんなことを教えられますよ」という柔軟さは真似したいものだ。



Pizzeria FUMO
酒井氏プロデュースの犬同伴カフェ（上）。カフェテーブルは、FUMO＝煙という店の名前にちなんで軽く浮遊していく感じをイメージ。屋外用（下）は透明アクリルとそれに埋め込まれた華奢なステンレスのフレーム、屋内用はアクリルの天板に封入された0.2ミリの突き板が軽やかさと空間の広がりを表している
●住所：東京都世田谷区駒沢4-12-22 ティファーレ駒沢2F●TEL:03-3410-2069●営業時間：11:00～25:00（金曜～26:00）、月曜定休



デジタルカメラ
Finepixコンセプトモデル
【コンセプト】「下世話な所有感」をテーマに、デザインの質と見せびらかしたくなる欲求のバランスを主題に進めたプロジェクト。シンプルな筐体デザイン、センサーで開くレンズバリア、金属調の表面に浮かび上がり移動する光、高級ブランドのケースなどが渾然一体となってスタイリングのみによらない所有欲をかきたてる



「大学の恩師でもあるデザイナーの益田文和氏には、自分のデザインや考えを信じることと、それに対して責任を持つことを教わりました」

酒井俊彦氏
有限会社 サカイ デザイン アソシエイツ

■ 事業内容
プロダクトデザイン、家具・インテリアデザイン、空間プロデュース

■ 主な得意先
LEGO、ナイキ、富士写真フイルム、シャープ、サンヨーほか多数

■ 設立
1992年

■ 所在地
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-11-13 俳協ビル1F

■ 連絡先
TEL：03-5363-1039
URL：http://www.sakaidesign.com